

# ひ お ま

# 2011. 4

vol.72

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

## 主な記事

平成23年度市の予算 .....	2
第2次日置市行政改革大綱を策定 .....	6
学校応援団ボランティア募集 .....	8
共生・協働の地域づくり21 .....	9
まちの話題 .....	10
市民の広場 .....	18



# 平成23年度 市の予算

一般会計 221億円 (前年度比 3.0%)  
特別会計 129億3,592万7千円 (前年度比△4.4%)

3月議会定例会において、平成23年度当初予算が可決されましたので、地方自治法第219条第2項の規定に基づき予算の状況を公表いたします。

市の状況 (単位：人、世帯)

年度	H20.4.1現在	H21.4.1現在	H22.4.1現在	H23.4.1現在
人口	51,886	51,614	51,422	51,119
世帯	22,155	22,254	22,289	22,334

市の人口動態 (単位：人)

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
出生	417	395	353	378
死亡	689	610	635	735
転入	2,411	2,166	2,161	2,189
転出	2,459	2,223	2,071	2,135
増減	△320	△272	△192	△303

(※市の人口、市の人口動態は住民基本台帳から)

平成23年度市の行政運営は、平成22年度1月および3月補正予算で予算措置した「きめ細かな交付金」や「住民生活に光をそそぐ交付金」などを財源とした5億2千5百万円余りと、平成23年度当初予算とを切れ目なく執行することにより、積極的な雇用・経済対策に取り組み、地域経済の活性化を図ります。

重点的な施策として、九州新幹線の全線開業により、地域資源を生かした観光客の誘致や伊集院駅周辺の整備に取り組んでいきます。また今年度は、平成21年度に策定した26地区公民館の第一次地区振興計画が最終年度となります。地域でできることは地域で解決する理念のもと「共生・協働の地域づくり」を進めていきます。さらに雇用環境に対応するため、県の基金を活用した雇用機会の創出や道路などのインフラ整備を通じて景気の下支えを図っていきます。

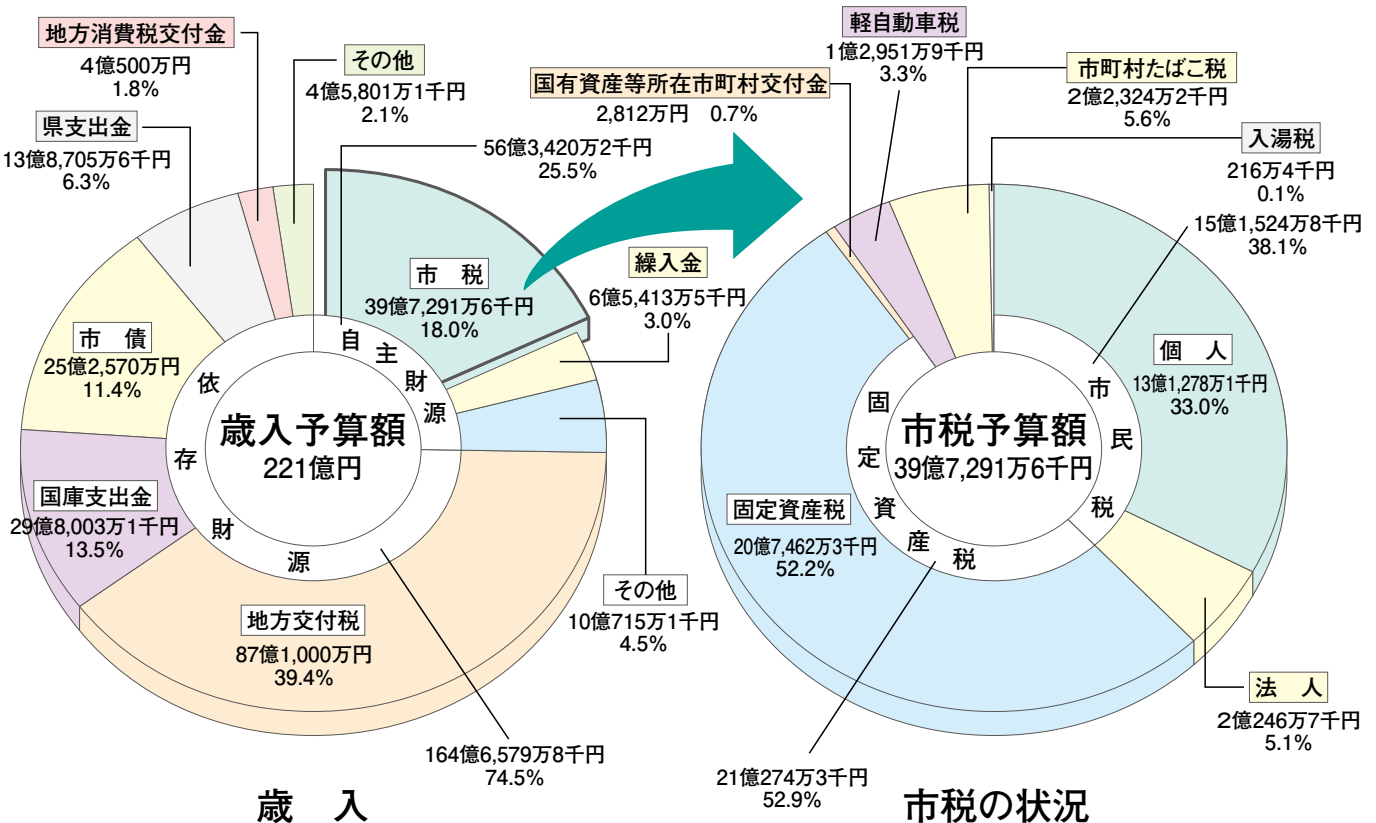
昨年は、口蹄疫(CFRAV)や高病原性鳥インフルエンザが全国各地で発生しました。畜産は本市においても重要な産業の一つであることから、防疫対策を講じていきます。また過疎化が進みつつある地域に、小規模の市営住宅の建設を進め、定住人口の確保を図ることや、子宮頸がん、インフルエンザ菌B型、小児用肺炎球菌といったワクチン接種費用の9割を公費で助成し、安心して子育てができるよう支援していきます。

そのほか、伊集院小学校校舎改築工事を、本年度から3年かけて実施していきます。さらに第二次行政改革に基づく「住民サービスの向上とコスト削減」を目指して、着実に行政改革を推進し、その中の一つとして、日置市診療所と日置市特別養護老人ホーム青松園を、平成24年度から指定管理者制度に向けた検討を進めることなど、より効果的で効率的な行政運営を進めます。

## 歳入

歳入の主なものでは、どこに住んでも一定の行政サービスを提供できるように

交付される「地方交付税」が、全体の39.4%を占めています。次いで、市税が18.0%、社会保障制度など福祉サー





ビスの財源となる国からの補助金「国庫支出金」が13.5%、長期で借り入れる「市債」が11.4%となっています。

具体的には「市税」で、景気の低迷により個人市民税を中心に減収が見込まれています。

「地方交付税」では、地域主権改革を進めるため、前年度と同程度が確保される見込みによる増。「国・県支出金」についても、子ども手当支給事業費や生活保護費、障害者自立支援給付費、保育所運営費、子宮頸がんなどワクチン接種支援事業費など県補助金による増となっています。

このほか市債については、社会基盤整備の財源としての市道整備事業や、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債などは減となっています。

歳入の大部分は依存財源（74.5%）であり、これは国や県などに頼るお金です。

一方、市が自主的に収入しうる財源で市税などを自主財源といい、25.5%と自主財源の比率が低い構造となっています。

### 歳出(目的別)

歳出を、目的別に見てみると「民生費」が六十億八千六百四十三万九千円で全体の27.5%を占めています。これは、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護などに関する支出で、すべての人が安心して暮らせる福祉のまちづくりに使われています。

次に多いのが、過去の投資的事業の財源として借り入れた市債の元利償還金で

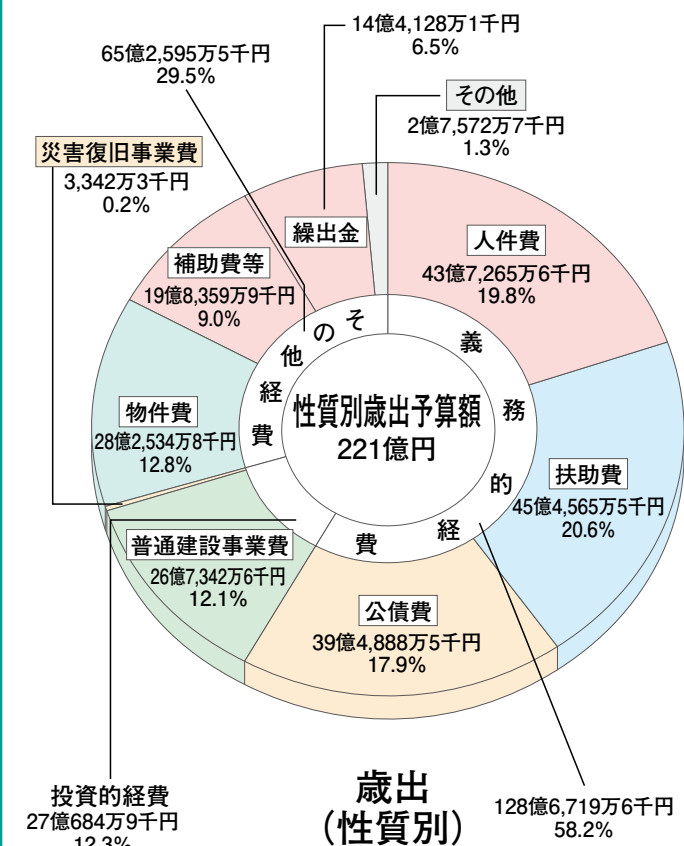
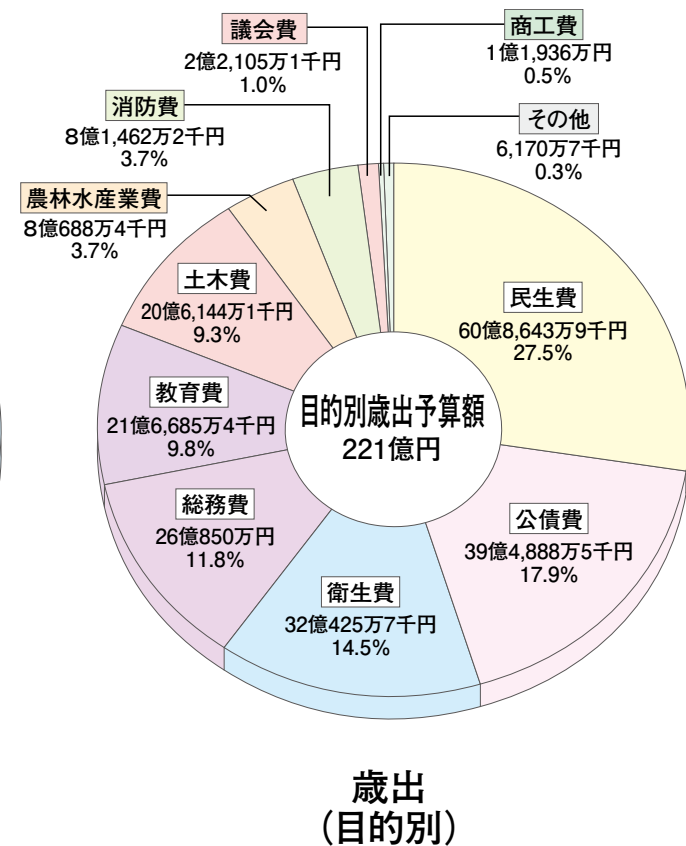
ある「公債費」で17.9%、次に乳幼児医療費の無料化や、がん検診等事業などの「衛生費」で14.5%を占めています。

### 歳出(性質別)

地方公共団体の経費は、経済的な性質によって義務的経費、投資的経費、その他の経費に区別しています。義務的経費は、職員給与等の「人件費」や生活保護費等の「扶助費」、市債の元利償還等の「公債費」で構成され、全体の58.2%を占めています。「普通建設事業費」および「災害復旧事業費」の投資的経費が12.2%、「物件費」、「補助費等」などのその他の経費が29.5%となっています。

平成22年度と比較すると「人件費」が、四十三億七千二百六十五万六千円で、地方議会議員年金制度廃止による負担金や退職手当組合の負担金の増により対前年度比八千三百三十五万五千円（1.9%）の増となっています。次に、社会保障費などの「扶助費」が四十五億四千五百六十五万五千円と対前年度比三億九千六百四十八万八千円（9.6%）の増、「公債費」が三十九億四千八百八十八万五千円と対前年度比九千八百一十一万八千円（2.5%）の増となっています。義務的経費の増加傾向は、財政構造の硬直化を招くおそれがあるので、動向には注意する必要があります。

道路、公園、公営住宅、学校などの建設に要する普通建設事業費については、二十六億七千三百四十二万六千円で対前年度比二千八百八十七万二千円（1.1%）の減となっています。



構成比は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

# 平成 23 年度のおもな新規事業

## 1 社会基盤（どこに住んでいても不便を感じない都市基盤づくり）

### 乗合タクシー運行事業

10,100 千円

コミュニティバスの運行頻度が低い地域においては、移動手段を確保するために、タクシー業者に委託して事前予約型の乗合タクシーを運行することにより、伊集院、吹上の2地域における利便性の向上を図ります。（伊集院地域6路線、吹上地域5路線）

## 2 生活環境（自然環境と調和する豊かな暮らしづくり）

### 防災行政無線整備事業

23,000 千円

防災行政無線は、災害時の情報伝達に用いるとともに、平常時には、行政情報を市民にお知らせする手段として構築しています。本市の防災行政無線施設は、合併前において整備された無線を利用しており、その運用は各支所ごとに個々に運用していることから、防災行政無線の整備更新を図ります。

（防災行政無線整備実施設計、地域コミュニティ無線電波伝搬調査業務）

### 通信指令台部分更新事業（消防緊急指令施設更新）

9,661 千円

消防通信指令室は、消防本部の心臓部です。災害発生時、一般電話・携帯電話からの119番通報で迅速・的確に対応し、また、無線交信により指示命令や情報収集できるよう整備されていますが、経年劣化しているハード面・ソフト面の更新を図ります。（5年リース（H23～H28）総事業費57,400千円）

### 活力創出基盤整備事業・公園

12,000 千円

都市公園施設の老朽化に対応するため、既設施設の改修・更新および充実した施設の整備により安全・快適な公園を目指します。公園長寿命化計画の策定に係る調査経費（52公園の園路やトイレなどの施設のバリアフリー化、遊具などの改修整備）

## 3 産業経済（自然風土や産業基盤を生かした活力ある産業群の育成）

### 農業者戸別所得補償制度推進事業

4,005 千円

平成23年度から本格実施される農業者戸別所得補償制度の周知、要件確認等の制度推進を行います。

農業者戸別所得補償制度は、食料自給率の向上を図ることが大きな目的であり、国家戦略として取り組むことから、戦略作物の生産振興、地域農業の振興については、行政が主体的に推進します。

## 4 保健医療福祉（子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり）

### 発達障害児等支援事業

3,000 千円

発達障がい児等に対する保健、教育、福祉等の連携体制を構築し、本人、家庭への効果的な支援や早期発見・早期療育により2次障害の防止と本人の自信形成や保護者の子育ての負担軽減を支援します。（鹿児島県安心子ども基金活用事業 臨床心理士謝金）

### 母子保健事業費（要支援児フォロー、不妊治療助成等）

59,933 千円

妊娠中から出産・子育てにおいて、妊婦健診、母子健診・相談・教室を実施し、子どもの健やかな成長・発達を支援することで、母親の育児不安や産後うつ等の健康支援を図ります。（要支援児フォローの保健師賃金等2,663千円）

また、不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図るため、治療費の助成を行います。（予算計上額2,000千円、10万円/年間 期間：通算5年間）

### がん検診等事業

67,733 千円

がん対策基本法に基づき、がんの早期発見・早期治療のために40歳以上（一部20歳以上）の市民を対象に、がん検診を実施します。また、肺全体の断面を隔々まで検査するため、検診車による肺がんCT検診を実施します。（新規事業肺がんヘリカルCT1,974千円、前立腺がん1,128千円など）

### 子宮頸がん等ワクチン接種支援事業

44,332 千円

生後2カ月から4歳児までを対象にヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン、中学校1年から高校1年相当者までを対象に子宮頸がんワクチンについて、接種希望者に接種費用の9割相当額を助成し、髄膜炎、子宮頸がんの予防に努めます。

## 5 教育文化（特色ある地域文化を継承する風土づくり）

### 小学校校舎改築事業

372,515 千円

学校施設老朽化のため、伊集院小学校の校舎改築工事を本年度から着手し、安心・安全な施設の整備を図ります。（校舎建築に係る総事業費1,703,548千円、H23～H25）

## 6 行財政（市民の満足度と効率化を両立できる体制づくり）

### 住民税申告書電子化事業

6,700 千円

住民税申告内容を電子化することにより、住民税申告会場を選ばないワンストップ窓口化や、必要なときにすぐ検索できることで、住民の方の利便性の向上および業務の効率化・課税の正確性にもつながります。

### 男女共同参画事業（総合相談窓口設置）

1,675 千円

日置市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画相談員を配置し、市男女共同参画推進懇話会および各地域女性団体連絡協議会等関係機関と連携しながら、シンポジウム等の開催、各種週間と連動した啓発活動などに取り組みます。

### 芸術家招へいによる地域振興事業

2,927 千円

芸術の都日置を目指し、公募により芸術家を招へいし、地域に密着した活動の中で芸術による地域活性化を図るとともに、地域との協働による特色ある地域づくりに取り組みます。

## 公債費の推移 (借金)

市債については、市道や公園、学校などを建設する場合に、長期間にわたって利用することができ、かつ多額の経費が必要なものの財源を確保するため、国や銀行などから資金を調達する長期的な借入金のことです。そして、市債の元金や利子を返済するための経費を公債費といいます。合併時からこれまで156億円を借り入れ、事業の円滑な推進をしてまいりました。年度別の元利償還額については、平成24年度の40億円をピークとし、その後は減少が見込まれています。

市では、借入金の繰上償還や借入額の抑制により、市債残高を合併時より24億円減少させており、地方債残高の増に伴い公債費負担が増加する中で、将来の世代に過度の負担を残さないためにも、合併特例債などの有利な市債の発行に努めています。

(1) 合併後の市債発行額 (単位:千円)

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
発行額	4,643,900	2,959,000	2,868,500	2,601,500	2,545,100

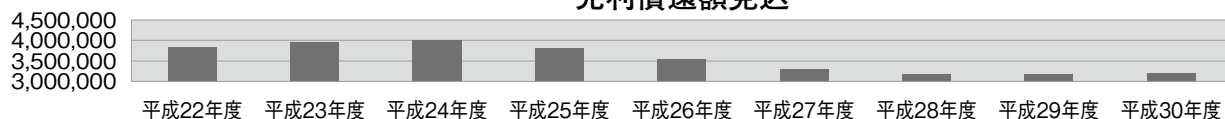
(2) 今後の市債発行見込額 (単位:千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
発行見込額	2,885,400	2,525,700	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000

(3) 年度別元利償還見込額 (単位:千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
元利償還見込額	3,834,549	3,947,885	4,003,319	3,811,287	3,540,784	3,299,569	3,192,125	3,188,720	3,202,054

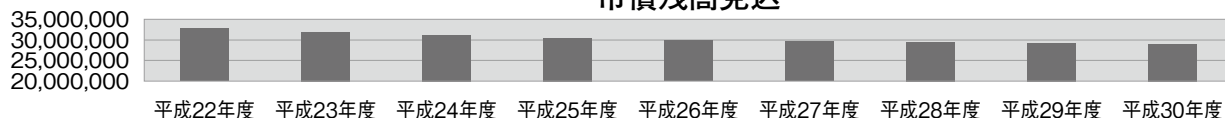
### 元利償還額見込



(4) 市債残高見込額 (単位:千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
残高見込額	32,748,385	31,872,364	31,211,081	30,409,347	29,872,840	29,578,890	29,395,479	29,220,113	29,036,371

### 市債残高見込

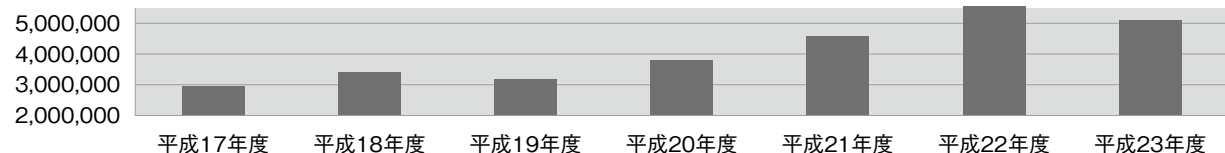


## 積立金 (財政調整基金など)の推移 (貯金)

(1) 積立金残高見込額 (単位:千円)

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
残高見込額	2,964,674	3,410,139	3,184,179	3,804,002	4,572,399	5,566,416	5,116,068
うち財政調整基金	2,244,822	2,689,526	2,668,777	3,049,802	3,287,509	3,535,527	2,977,576

### 積立金残高見込



### 公営企業会計

公営企業会計とは、地方公共団体が企業として経営する事業(上下水道・電気・ガス・病院・観光施設等)を行う場合に、その性質からその公営企業の経営に伴う受益の程度に応じた料金(使用料)で賄うため、その収支を明確にすることから一般会計とは切り離して経理するもので、日置市では、水道事業を公営企業会計としています。

#### 公営企業会計 (収益的収入および支出)

会計区分	予算額	前年度比
水道事業	7億5,341万1千円	△1.4%

### 特別会計予算

会計区分	予算額	前年度比
国民健康保険	60億1,577万9千円	△11.6%
特別養護老人ホーム事業	3億1,100万円	3.1%
公共下水道事業	6億4,468万6千円	7.3%
農業集落排水事業	3,774万4千円	7.6%
国民宿舎事業	2億5,000万円	0.2%
温泉給湯事業	482万7千円	△1.0%
公衆浴場事業	109万9千円	△3.8%
飲料水供給施設	58万8千円	12.4%
住宅新築資金等貸付事業	324万5千円	△20.6%
介護保険	49億6,196万9千円	8.5%
後期高齢者医療	5億8,719万7千円	△3.0%
診療所	1億1,779万3千円	△65.1%
小計	129億3,592万7千円	△4.4%

### 特別会計

特別会計とは、特定の収入を持って特定の事業を行う場合に、その収支を明確にするため一般会計とは切り離して経理するもので、日置市には12の特別会計があります。



# 第2次日置市行政改革大綱を策定

## 新たな時代を切り開く 日置市経営戦略

～共生・協働による新たな公共空間の創造を求めて～

### ◆第2次市行政改革大綱とは

今回策定した「第2次市行政改革大綱」は、平成23年度から5年間の行政改革を進めるための指針となるものです。

地元企業や公共的団体の代表者、公募で選ばれた方々など、委員14人で構成される市行政改革推進委員会（会長・萩野誠鹿兒島大学教授）において、昨年8月（諮問）から審議を重ね、本年2月に付帯意見とともに答申がなされ、これを受け決定したものです。



市行政改革推進委員会

### ◆改革が目指すもの

- ・ 足腰の強い自治体
- ・ 共生・協働による行政経営

目指すべき方向・姿

## 行政改革の推進 (第2次市行政改革大綱)

日置市が持続的に発展し、より効果的・効率性のある質の高い行政サービスを提供していくために

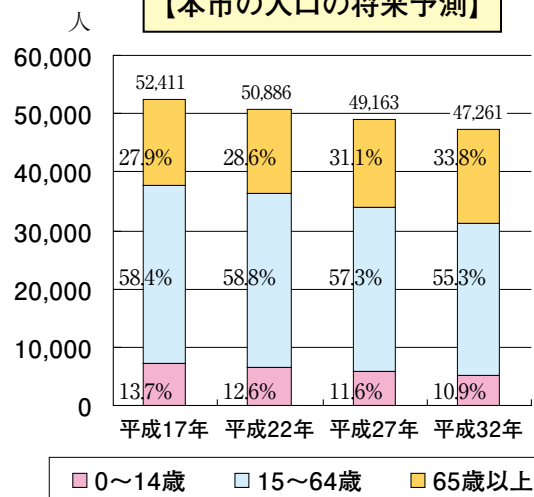
限られた財源等  
経営資源

厳しい財政状況

少子高齢化・  
人口減少社会

地方分権の進展

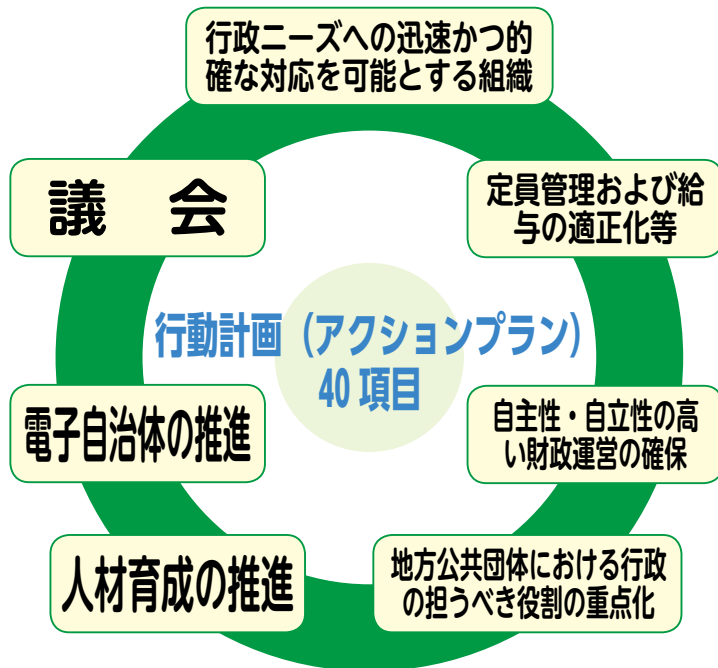
【本市の人口の将来予測】



注) 平成17年は国勢調査、平成22年以降は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口」による。

### ◆推進期間

本大綱の推進期間は、平成23～27年度までの5年間とします。



### ◆行動計画 (アクションプラン) の策定

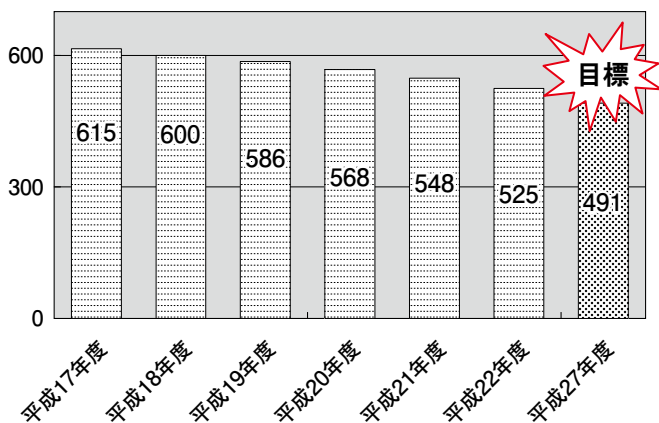
本大綱の具体的な実施方法として「第2次市行政改革大綱行動計画 (アクションプラン)」を併せて策定しました。40項目の行動計画を掲げ、5年間で約6億3千万円の効果目標額を設定しました。なお、行政改革を着実に進めるためには、時代を的確にとらえる必要があることから、行動計画については、必要に応じて見直しを実施することとしています。  
(※行動計画の内容など、詳細については市ホームページをご覧ください。)

### 行動計画 (アクションプラン) 効果目標額

単位：百万円

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度効果目標額	128	108	118	142	131
累計効果目標額	128	236	354	496	627

### 【市職員の推移】



(単位：人)

### ◆7項目の具体的方策 (概要)

#### 1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織

「市役所は市民のためのサービス機関」として、分かりやすい市民サービスの提供や市民ニーズの的確な把握に努めます。また、組織機構については、簡素で効率的な組織機構を目指し、不断の見直しによる市役所機能の向上を、事務事業についても最少の経費で最大の効果を上げるよう、見直しを図りながら迅速で効率的な事業の実施を図ります。

#### 2 定員管理および給与の適正化等

効率的・効果的な行政経営を図りながら、人件費の抑制をさらに推進していくため、定員管理を行います。給与についても国、県および他市町村との均衡ならびに民間の動向を踏まえ、適時見直しを図ります。

#### 3 自主性・自立性の高い財政運営の確保

財政状況を分析した上で、事業の必要性や優先度を検討しながら、市債の発行抑制等に取り組み、また滞納整理の推進、市有財産の有効活用を通じた自主財源の確保など財政の健全化に向けた取り組みを強化します。公共工事については、執行において効率的で透明性の高い入札制度の検討を引き続き行い、地域の活性化を図れるよう努め、さらに公共施設・未利用土地についても評価・活用等について検討します。

#### 4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化

市が直接行うよりも民間事業者のノウハウを活用した方が、サービスの維持・向上や経費の節減が図られる事務事業については、民間委託（指定管理者制度を含む）等を推進します。また、地方公営企業や第三セクター、地方公社について、引き続き経営健全化・安定化に取り組みます。地域協働については、市民の市政への参画意識の高揚や参画しやすい環境づくりに取り組み、さらに地域と行政の役割を分担した上で、自治会やNPO団体等を行政経営のパートナーとしてとらえ、参画できる仕組みを構築していきます。

#### 5 人材育成の推進

市民の負託に応え、多様化する行政需要および時代の変化に対応できる人材の育成、能力開発を推進します。

#### 6 電子自治体の推進

各種手続き等の電子化等により、行政事務の迅速な提供と市民生活の利便性向上を図ります。

#### 7 議会

地方分権の時代にあって、議会の持つ住民代表機能および執行機関に対する監視機能の役割がますます大きくなっており、今後も継続して議会の改革等に取り組み、開かれた議会運営を推進していきます。

### ◆進行管理

今年度から本大綱をもとに行政改革に取り組みますが、行政改革の推進を確実なものにするために、進ちょく状況等につきましては、市行政改革推進委員会の検証等を受けながら、市民の皆さまへお知らせしていきます。



平成23年度開始

# 日置市「学校応援団」ボランティア募集

日置市「学校応援団」は、学校のニーズに応じて、学校運営を支援する組織です。学校の教育活動や安全指導、環境整備などを支援し、地域全体で子どもを守り育てる環境をつくることを目指しています。

皆さんの豊かな知識や技能を、ぜひ学校のために生かしてください。ボランティア活動に対するお礼は、子どもの「笑顔」と「ありがとう」の言葉です。そして、子どもたちから元気をもらい、学校や子どもたちとのつながりをつくりましょう。

## 「学校応援団」ってなに？

- ① 学校応援団ボランティアとして登録し、学校の求めに応じて教育活動の支援を行います。
- ② 学校や先生に協力し、一緒に学校や教育活動をよりよくするための活動を行います。
- ③ できる人が、できる時に、できる事をします。
- ④ 金銭的なお礼は求めず、子どもの「笑顔・ありがとう」と「元気」をもらいます。
- ⑤ 活動中や移動中の事故やけがは、ボランティア保険で対応します。

## 学校では、次のような活動に対する支援をもとめています

### 【教育活動に対する支援】

- 硬筆・毛筆の補助 ●俳句・短歌づくり ●昔の体験談 ●歴史や自然・伝統文化の話
- 道徳の講話 ●理科実験 ●絵画・陶芸 ●楽器の演奏 ●合唱 ●郷土料理 ●和裁・洋裁・ミシン
- 水泳・陸上競技・器械体操 ●クラブ・部活動 ●わら細工 ●昔の遊びやおもちゃ作り ●郷土芸能
- 民具や農機具の説明 ●パソコン補助 ●米・野菜作り ●畝づくり・耕うん ●外国語活動 ●茶道・華道

### 【安全指導】

- 登下校時の安全見守り ●あいさつ運動 ●集団下校時の引率 ●危険箇所点検 ●草はらい

### 【環境整備】

- 網戸・戸車・コンセント・蛍光灯・水道・カーテン・階段滑り止め・給食着などの補修 ●ペンキ塗装 ●溶接
- 倉庫・屋根・瓦・窓ガラスなどの高所の補修 ●花壇・土づくり ●樹木の剪定(せんてい)や表示板作成
- かんな・のみ・のこぎり・包丁などの刃砥ぎ ●学校林の伐採

### 【その他】

- 学校行事への参加 ●行事開催時における駐車場整理 ●職員会議・研修時等の児童の見守りなど



縄なえの手伝い



俳句づくりの指導



餅つきの手伝い



稲刈りの手伝い



学校玄関での生け花



陶芸の手伝い



昔の遊びの伝承



郷土芸能の伝承

## 「学校応援団」ボランティア登録について

- ボランティアの希望者は、所定の登録カードに必要事項を記入し、本庁社会教育課、各支所教育振興課、各地区公民館、または小・中学校に提出してください。団体で登録する場合は、団体用の登録カードに記入してください。
- 本部では、登録された方に「登録証」を発行し、首さげ式のホルダーに入れて登録者に送付します。ボランティア活動中は、このホルダーをつけて活動してください。またボランティア保険に自動的に加入します。(自己負担はありません)
- 年度途中の登録も、随時受け付けます。活動する2週間前には、登録を済ませてください。
- 任期は1年間(3月31日まで)です。一度登録をされた方は、年度が変わるときに自動更新します。やめたいときは、学校、地区公民館、本部、地域本部のいずれかに報告してください。

登録用紙は、本部(本庁社会教育課)、地域本部(各支所教育振興課)、各地区公民館、または小・中学校に用意してあります。もっと詳しい内容を知りたい方、登録をしたい方は、お気軽にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

日置市教育委員会 社会教育課 TEL 273-2111 FAX 272-3145 または各支所教育振興課、最寄りの地区公民館まで



## 平成23年度地区公民館職員一覧

地域	地区公民館	証明書取扱	電話番号	館長	支援員	主任
東市来	高山	○	274-9856	鮫島育郎	白石克隆	野上正和
	上市来	○	274-3665	谷山泰洋	植村 斉	久保文男
	皆田	○	274-2152	下茂孝一	本田清熊	福田敬子
	湯田	○	274-2863	山口一紀	重信和夫	三原順子
	美山	×	274-4370	石川みどり	住吉伸一	渡部功一
	伊作田	○	274-9870	濱崎満洋	外園昭実	今田一美
	鶴丸	×	274-2511	橋野六男	久留明博	平美智子
伊集院	伊集院	○	273-0315	坂ノ上日出二	今村悦男	福留千代美 永吉恭子
	伊集院北	○	273-0769	畠中千秋	吉田 彪	岩下良子
	妙円寺	○	272-4550	田中輝雄	宮原博憲	夏迫康子
	土橋	○	273-9130	山下正見	園田健次	中玉利祐子
	飯牟礼	○	273-1632	村岡正弘	瀧山洋一	橋之口直子
日吉	住吉	○	292-3567	笠野邦彦	久保俊信	前岡千穂
	日新	○	292-2312	今別府利行	橋口光徳	中原絹江
	日置	×	292-2111	山口義光	黒岩和宏	大迫涼子
	吉利	×	292-3615	春成道夫	藤田秀暁	松村美津子
吹上	扇尾	○	292-4060	諸正博幸	古垣道夫	黒葛 舞
	伊作	×	296-6533	牧野達己	吉留勝征	坊野悦子
	花田	○	296-3021	井上克己	前田幸良	有馬ひとみ
	野首	○	296-2127	佐野清行	松下志朗	柳原由美子
	藤元	○	296-2896	窪田和洋	大沢周二	三窪 薩男
	平鹿倉	○	296-2889	田中靖英	馬籠敦男	馬籠 貴樹
	和田	○	296-3031	榊 秀 徳	東穂久司	大迫景子
	吹上	○	296-2083	西園一幸	池上成武	前野敦代
	永吉	×	297-2005	下萩昌隆	上野房子	高柿俊美
	坊野	○	297-2846	坊野良一	船迫芳子	坂木洋子

平成23年度当初・敬称略

## 日置市地区公民館条例が制定されました



温もりあふれる  
共生・協働の地域づくり21

## 主体的な地域づくりの拠点へ

地区公民館はこれまで、社会教育法に基づき施設として管理され、併せて地域づくりも行ってきました。  
市では、地区公民館をより主体的な地域づくりに取り込む拠点にするために、地区公民館条例を制定し、より使い勝手の良い施設を目指します。

日置市では、平成19年度に市内の小学校区(一部旧小学校区)に、社会教育法に基づき26カ所の地区公民館を設置し、中央公民館、自治会との三層による自治を進めてきました。  
翌年には、地区振興計画の策定に取り組み、地区単位での地域づくりが始まりました。そのため、地区公民館は生涯学習と地域づくりの二面性を持つこととなり、職員も館長、指導員、主事補が教育長と市長からそれぞれ任命を受け、わかりづらい仕組みになっていました。

### 将来を見すえて議論

そこで市では、中央公民館4館と地区公民館26館からなる日置市公民館条例を見直し、地区公民館を生涯学習も行うコミュニティの館とする「日置市地区公民館条例」を制定しました。  
なお、中央公民館4館は中央公民館条例として、引き続き教育委員会が管理します。

条例では地区公民館を「共生・協働による地域社会を実現し、市民の主体的な地域づくりを推進する拠点」に位置付け。その事業は、

- ① 地域づくり活動
- ② 生涯学習活動
- ③ 地区住民の参画や交流
- ④ 証明書等の受付・交付
- ⑤ 施設・設備の公共的利用
- ⑥ 地区公民館相互や関係団体との連絡調整

地区公民館には市から館長と支援員二人の職員を配置。「館長」は、地区で選出された方を任命します。

「支援員」は、これまで指導員として携わってきた地区公民館事業や活動の一層の支援と、地区住民に側面から寄り添いながら、手助けする職員として配



館長、支援員が一同に会し新年度の事業を協議 (4/1)

置します。  
また、昨年度まで市長が任命していた主事補を、「主任」として地区公民館で雇用することとし、より主体的に地域づくりに関わっていただくことになりました。  
今年度の各地区公民館職員は上表のとおりです。  
また、地区公民館では、前述の事業に関する活動の範囲内で、地区公民館や地域づくり団体などが取り組む非営利の販売活動ができるようになります。ぜひ、お気軽に地区公民館にお立ち寄りください。

## 見て・聞いて・触れて感じた韓国の文化と心

### 韓国文化体験交流の旅

韓国文化体験交流の旅が、三月十一日から十三日まで実施さ



▲伝統楽器作りに挑戦中

れ、日ごろから韓国に興味を持つ市民十人が参加しました。

これは、平成十年の薩摩焼四百年祭を機に実施されている、国際交流事業の一環として韓国文化に対する理解と、人々との交流を深めるために実施されたものです。

今回は、韓国でもっとも有名な古典物語「春香伝」ゆかりの地であり日置市と「文化交流友好協力関係協約」を締結している南原市への訪問。市内には多くの文化財や伝統芸能が残っています。

訪問先の「廣寒樓」は、春香物語の舞台となった場所で、韓国の伝統的建物と庭園を見学。

語り継がれる物語の、命さえ惜しまぬ愛の強さを知りました。

また、「国楽（韓国の伝統音楽）」を体験できる施設も訪問し「チャング」と呼ばれる韓国太鼓の製作体験や演奏体験、「南原市立国楽団」によるミニ公演など伝統芸能を堪能しました。

今回の交流で韓国伝統の文化と歴史の深さと、おもてなしの心を感じた参加者は、笑顔で韓国を後にしました。

## 広がれ！地域読書の輪

### 東市来地域親子読書会交流会

東市来地域親子読書会交流会が二月五日、東市来中央公民館で開かれました。

この交流会は、各学校で活動している親子読書会の、日ごろの活動を発表することで、親子読書への理解を深め、活動を広げていこうと毎年開かれているものです。

今年度は、鶴丸小学校家族読書会の手作り紙芝居や、湯田小

学校親子読書会のペープサート（紙人形）劇の発表、また、親子読書が盛んな霧島市の小野小学校の活動発表が行われました。

参加した約百人の親子は、工夫されたシアターや紙芝居などの実演に、熱心に見入っていました。

これを機会に親子読書活動がますます広がっていくことを期待します。



## 全国ドッジボール選手権県大会3位入賞

### ファンキー☆モンキーズ妙小（妙円寺小）



二月二十日に行われた全国ドッジボール選手権県大会女子チーム部門で三位となり、三月に宮崎市で開催される九州大会に出場する「ファンキー☆モンキーズ妙小」が、三月二日、宮路市長を表敬訪問しました。

市長は「九州大会でも、上位入賞を目指して六年生の良い思い出を作って」と激励。

キャプテンの川上菜央さんは「全国大会に行けるように力を合わせて、全力で頑張りたい」と意気込みを話しました。

## 頂点目指して熱戦を展開

### 硬式少年野球春季九州選手権大会

三月二十六日から二十七日にかけて、硬式少年野球春季九州選手権大会が、吹上浜公園野球場と伊集院総合運動公園野球場、湯之元球場で行われました。

この大会は、今年で二十四回目を数え、吹上地域を中心に開催されています。

今大会には、九州各地から小学部に八チーム、中学部に十六チームが参加。それぞれ優勝を目指して熱戦を繰り広げました。





## お互いを大事に生きていますか？

### 日置市男女共同参画推進懇話会

「心のゆとりで思いやりを考  
えてみよう！相手のこと」。

日置市男女共同参画推進懇話  
会は、三月六日、精神的側面か  
らの男女共同参画を感じてもら  
おうと、講演会を中央公民館で  
開催しました。

NPO法人メンタルケア鹿児  
島代表理事で、心理カウンセ  
ラーの平川真理子さんが『お互  
いを大事にできていますか？』と  
男女共同参画の視点から『と  
題して講演。「女性らしさ、男  
性らしさに縛られると生きにく  
い」「あなたはあなた、わたし  
はわたし。お互いを認め合いま  
しょう」と訴え「ほめあい、認  
め合うとより良い人間関係が築  
かれる」と話しました。

講演会は、昨年に続き日曜日  
に開催され、約九十人が参加。  
性別にかかわらず、互いの人權  
を尊重しあう社会の形成につい  
て理解を深めました。

また、講演会に引き続き、平  
川さんをアドバイザーに懇話会  
も行われ、講演会を聞いての意  
見交換や二十三年度の活動計画  
が協議されました。

「DV(※)を受けて、逃げる  
ことのできる人は一部。周囲の

人が気付いてあげること。また  
DVを受けることは当たり前だ  
と思わないこと。」「意識啓発が  
大事」と平川さん。

委員らは、二十三年度から配  
置される男女共同参画相談員と  
協力し『男女共同参画』への認  
識をさらに深めなければならな  
いと促されました。

懇話会には、今後も啓発活動  
を含め、一層、幅広い活動が期  
待されます。

※夫やパートナーなどの親密  
な関係にある(あった)異  
性間で行われる暴力



## 料理で近づくマレーシア

### マレーシア料理教室



われ、鹿児島大学  
マレーシア留学生  
九人を含む三十五  
人が参加しまし  
た。

参加者は、講師  
の国際交流員ワン  
さん夫妻の指導の  
下、マレーシア料  
理作りを楽しみま  
した。

吹上町マレーシア交流実行委  
員会(下園聖子会長)主催の  
マレーシア料理教室が、二月  
二十六日、伊作地区公民館で行

メニューは、ピリツと辛い  
「ビーフン・ゴレン」(焼きビー  
フン)と、真っ赤な激辛ソース  
をかけて食べる「ポピア・ゴレン」

(揚げ春巻き)、参加者の中には、  
この料理のソースの辛さに、汗  
だくで食べる人もいました。  
デザートは、サツマイモとサ  
ゴでんぶんを煮込んだものに、  
黒砂糖とココナツミルクを加  
えた甘いスープ「ブボ・チャ  
チャ」。これは日本のぜんざい  
に似た感じのまろやかな味で、  
みんなおいしそうに食べていま  
した。

また、今春鹿児島大学を卒業  
する留学生の送別会も兼ねて行  
われ、料理を囲みながら会話も  
盛り上がりました。

## もっと知って！身近な歴史！

### ふれあい文化財史跡めぐり歩マユツ会

第三十二回ふれあい文化財史  
跡めぐり歩こう会が二月十九  
日、湯田地区で開催されました。  
市教育委員会と東市来地域子  
ども育成連絡協議会が主催し、  
地域の史跡を巡ることで郷土の  
歴史を学び、健やかな子ども  
の育成を目的に行われているもの  
です。

今年は、昨年を百人近く上回  
る約五百人が参加。集合場所の  
体育館では、はやる気持ちを抑

え、落ち着かない様子で出発を  
待ちわびていました。

四班に編成された参加者は、  
それぞれ地区内の史跡を巡り、  
身近な場所にある史跡の数々の  
説明に耳を傾けていました。

また、今回、史跡案内役とし  
て、地元湯田地区の小・中学生  
が、それぞれの歴史背景につい  
て一生懸命説明しました。

来年は、上市来地区の史跡を  
巡ります。



▲熱心に説明を聞く参加者



## 楽しさ味わい盛況発進

チエスト！軽トラ朝市

農産物や特産品を軽トラックなどの荷台で販売する「チエスト！軽トラ朝市」が、二月二十七日向江町本通り（伊集院）の駐車場で開かれ、大勢の人でにぎわいました。

「きばれ商店街」が、地域の活性化を図ろうと、今回初めて開催。会場には、十三台の軽トラやワゴン車が軒を連ね、ダイコンやハクサイなど取れたての野菜や豚みそ、漬物などの加工食品が販売され



▲大盛況のネイルケアコーナー



ました。

会場の一画では、地域貢献の一環として、鹿児島城西高校へアーデザイン科の生徒が、ネイルケアのコーナーを設け大盛況。また、先着百人に振る舞われたぜんざいは、あつという間に品切れになりました。

会場を訪れた家族連れは「品ぞろえも豊富で、にぎわいがあって良かった」と笑顔で話しました。

「きばれ商店街」では、この軽トラ市を、毎月第四日曜日に行っていく予定です。

## 波にゆられて「エンヤオー」

舟こぎ祭り

「舟こぎ祭り」が三月二十日、船木神社（吹上町上田尻）で行われました。

この祭りは、上田尻一帯が湖水であったころ、猿田彦命が大汝牟運命を無事に小野湊まで送り届けた神話にちなんだものです。海に見立てた境内で、円陣を組んだ氏子らが、宝殿に収蔵されている大小五十隻の模型船を手渡ししながら一周させ、再び宝殿へと返される、全国的にも珍しい祭りです。

この日は、小雨が降るあい



## 春到来、吹上をぶらりウォーク

吹上温泉ウォーキング大会

吹上地域運動普及推進員協議会（田原嘉治会長）が主催する吹上温泉ウォーキング大会が、三月三日、吹上温泉広場周辺で開催されました。

この大会は、「市民の健康づくり役に役立てたい」と吹上温泉組合や、地域の企業などの協力の下開催。

今回は、最高齢の九十二歳の方をはじめ、過去最多の百七十人余り、遠くは鹿屋市からも参加がありました。

く空模様でしたが、氏子らは模型船を手にするると「エンヤオー、エンヤオー」と櫓拍子とともに、三回ずつ揺らしながら隣の人へと手渡し、模型船は境内の海を航海しました。



参加者は、同広場を発着点に、歴史探索や吹上温泉ぶらり散策など四つのコースから好みのコースを選択。それぞれ特色あるコースを、マイペースで楽しみました。

また、ウォーキング後は、会長自ら腕を振った焼きそばに舌鼓を打ったり、好みの吹上温泉にゆっくり入ったりと、健康であることの素晴らしさを堪能した一日となりました。



## 笑いに包まれ楽しく豊作を祈願

### 稲荷神社お田植え祭

三月三日、「お田植え祭」が、東市来湯之元の稲荷神社で行わ



▲楽しく披露される田園劇

れました。

「お田植え祭」は、二百年以上前から行われている伝統行事。当日は冷たい風の吹く中、大勢の見物客が訪れました。

田んぼに見立てた境内では、田園即興劇が行われ、テチヨ(亭主)、カカ(妻)、オンジョ(父親)役に扮(ふん)した三人が、田起こしや田植え休憩の雰囲気表現。見物人は、鹿児島弁での軽妙なやりとりを、笑い声を上げながら楽しみました。耕された田んぼには、神主の中木屋豊さんが「一升蒔きや



▲豊作を祈願しながらモミがまかれました

十三俵」と掛け声とともにモミをまき、地元湯田小児童が、稲に見立てた松の葉を植え、五穀豊穰を祈願しました。

## 美しいハーモニーの共演

### 歌う仲間の「コンサートinこけけ」

「歌う仲間のコンサートinこけけ」が、二月十三日、東市来文化交流センターで開催されました。

日置地区内の八つの合唱団と、県内外で活躍しているゲスト演奏家が出演するコンサートで、今回で三回目。

出演した各地域の合唱団は、指揮とピアノ伴奏に合わせて日ごろ練習している楽曲を楽しそ

うに歌い上げると、その優しく心地よいハーモニーは、会場全体に響きわたりました。

また、コンサート後半は、各合唱団に引き続き瀬戸口浩さんや美希代さん・姥智香さんによるゲスト演奏も披露され、こけけホールに詰め掛けた観客は、美しい歌声を聞きながら早春の午後のひと時を過ごしました。



▲美しい歌声を披露する出演者

## もちを伸ばして豊作祈願

### もちひっぱれ

奥神社(吹上小野)近くの田の神像の前で三月二十一日、「もちひっぱれ」が行われました。この祭りは、五穀豊穰を願い、



奥神社(吹上小野)近くの田の神像の前で三月二十一日、「もちひっぱれ」が行われました。この祭りは、五穀豊穰を願い、神社に供えたもちを使って、向かい合った二人が口で引っ張り合うもの。もちは約二十センチの棒状で、この両端を口でくわえて引き合い、もちが伸びれば伸びるほど豊作と言われています。負けると食べられないとあり、参加者は、体を上下させたり顔全体を使ったりと駆け引きが繰り広げられ、会場を沸かせました。

県内でも珍しいこの行事に、参加者や見物人は、笑顔で豊作を願いました。

## ちよつと一息、座いやんせ

### 吹上ライオンズクラブ

吹上ライオンズクラブ(貴島幸威会長)が、三月十日、木製ベンチ八台を東本町・西本町各自治会や、吹上温泉広場、吹上漁協、吹上ワンダーマップ実行委員会に寄贈し、吹上支所で贈呈式が行われました。

貴島会長は「地域の人に活用してもらって、くつろいでほしい」と話しました。

同クラブでは、このほかにも、地域駅伝競走大会出場チームへの支援や、毎月第四木曜の朝の

交通安全街頭指導などを行っています。



## 平和への誓い新たに

## 日吉町戦没者追悼式



日吉町戦没者追悼式が、三月四日、日吉老人福祉センターで行われ、遺族や各団体関係者など約百二十人が参列しました。式では、日吉町遺族会会長の場勝さんが式辞を、宮路市長と成田市議会議長が追悼の言葉を述べました。

また、遺族代表者の下内久史さんが、戦争のない平和を祈念して誓いのことを述べ、恒久平和への思いを一つにしました。

## この春入隊の4人を激励

## 平成23年度日置市自衛隊入隊者壮行式

自衛隊入隊者壮行式が、三月十四日、中央公民館で開催され、この春入隊予定の四人とその保護者をはじめ、市や自衛隊関係者が出席しました。

式では、宮路市長が「東北地方では、大規模な災害が発生し、自衛隊も救助活動に尽力しています。皆さんもこれから地域、国を守っていただきたい」と激励。

それに応じて、入隊者代表の近藤雄介さん（伊集院）が「初心貫徹し、立派な自衛官になります」と入隊者代表の決意を力強く述べました。



▲入隊への決意を述べる近藤雄介さん

## 皆さんも活用して

## ピアノ寄贈



▲寄贈されたピアノを使ってコーラス練習をする講座生

鹿屋体育大学教授の宮下和子さん（伊集院町出身）が、以前購入し自宅に置いてあったピアノを中央公民館に寄贈してくださいました。

寄贈されたピアノは、三階大会議室に設置され、公民館講座のグループや高齢者学級などで活用されています。

皆さんも、ぜひご利用ください。

## 河川愛護で県知事表彰

## 神之川自治会（東市来）

平成二十二年度河川愛護運動の優良団体に神之川自治会（永山修治会長）が選出され、三月十四日、市役所で県知事表彰の伝達式が行われました。

神之川自治会は、長年、河川や海岸を大切にし、河川・海岸愛護運動に功績のあったとして表彰されたものです。

同自治会では年三回、自治会員総出で、積極的に河川愛護活動に取り組んでいます。



## 市民の安全を

## 守るために役立てて

チャリティゴルフ大会で  
募金を寄付

チャリティゴルフ大会の寄付金贈呈式が、三月九日、日吉中央公民館で行われました。

今回は、交通安全設備に活用してほしいと、交通安全協会日吉支部の成田浩支部長へ手渡されました。

成田さんは「子どもから高齢者まで市民の交通安全に役立てたい」と話しました。

## 被災地復旧の支援に

## 東日本大震災義援金

皆さまの善意により、市および社会福祉協議会で受け付けた義援金が千五百八十九万八千五百円集まりました（四月十四日現在）。被災地復旧の支援に使用させていただきます。



## 吹上合宿に熱気あふれる

韓国延世大学・青山学院大学バスケットボール部

二月四日から十九日にかけて、韓国の延世大学バスケットボール部が、七日から十四日にかけては、青山学院大学が、吹上浜公園体育館で合宿を行いました。

今年で六回目となる韓国延世大学は、十五人が参加。韓国内でも歴史がある大学で古豪として知られています。

二回目となる青山学院大学は、昨年の全国大会（インカレ）で優勝するなど現在国内トップ

レベルの大学で、鹿児島県出身の選手二人を含む十八人が参加しました。

両大学は合宿期間中、合同練習をするなど、お互い刺激しあいながら厳しい練習に取り組みました。

また合宿期間中に、指宿市で行われたレノヴァ鹿児島（JTB



L2)の試合前に対抗戦を行い、県内のバスケットファンに、その実力を披露しました。

## 地域のためにできることを実践

伊作小6年生地域ボランティア活動

伊作小六年生が、二月十六日、学校周辺の地域ボランティア活動を行いました。

この活動は、地域について考えようと、授業の一環として行ったものです。

児童は五、六人のグループに分かれ、それぞれ周辺地域を見て回り、自分たちでも改善できることがないか、気になる場所を調べました。

女子五人のグループは、伊作バス待合所の壁や、柱の落書き

に着目し、いつごろから書かれた始めたのか、これまでどのような対応してきたのかなどを事前に調査。この日は、ペンキを混ぜ合わせて色を作り、ペンで書かれたり彫り込まれたりしている落書きを、丁寧に消しました。

また、伊作川にごみが捨てられているのを見つけた「川にごみを捨てないで」と手書きの張り紙をするなど、さまざまな活動に取り組みました。

## 地区選抜バレーボール大会優勝

県地区選抜小学生女子バレーボール菜の花大会

第三回鹿児島県地区選抜小学生女子バレーボール大会が、三月十九日から二十日にかけて、指宿市総合体育館で開催され、「日置チーム」が、第一回大会に続き、二回目の優勝を果たしました。

大会には、県下十一地区の各スポーツ少年団から選抜された二十二チームが参加。「日置チーム」は、日置市といちき串木野市から選抜された六年生十二人で編成し出場しました。子どもたちは、この大会を通

じて最後まであきらめない強い心を学びました。



## 狙うは優勝！

大学硬式野球部春季キャンプ

二月九日から三月十一日までの約一カ月間、湯之元球場は、

多くの大学硬式野球部の春季キャンプで活気にあふれました。今回キャンプインしたのは、千葉県の敬愛大学、広島県の広島国際学院大学、東京都の高千穂大学の三大学。キャンプ期間中、天候にも恵まれ、各大学とも春季リーグ戦開幕に備え練習に汗を流しました。

過去にはプロ野球チームもキャンプを行っていた湯之元の地で、トレーニングを積んだ各大学の今後の活躍が期待されます。





みんなでひろげよう！「元気な市民づくり運動」

子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりをめざして  
～健康実態調査を分析・検討中～



元気な市民づくり運動  
イメージキャラクター  
梅太郎

健康実態調査へのご協力ありがとうございました！  
市民一人ひとりが「生涯現役で豊かな人生を過ごせるように」と平成18年度に策定した推進計画。5年後の中間評価に伴い健康実態調査を行いました。現在、この調査結果に基づき、市民の皆さまの健康状態の実態把握や計画書の見直しに伴う各分野の課題、今後の方向性の検討を進めています。皆さまからのご意見を有効に、健康づくりや介護予防に生かしていきたいと考えています。

一緒に「できること」を考え、実行し、健康づくりに取り組みやすい環境づくりを広めましょう。

全地区公民館で「健康づくり活動」の取り組みを実施。  
H21実績：363回 延べ参加者数 12,396人



日置市として「元気な市民づくり運動」をすすめることがこれから大切です

個人だけでなく、行政だけでなく社会全体としての取り組みが必要  
地区や自治会単位で健康づくりに取り組む  
↓  
市民一人ひとりの意識が変わり行動変容  
↓  
元気になる  
生涯現役で豊かな人生にむかって

..... <健康実態調査から一部紹介> .....

日置市「健康実態調査」

- 対象者：日置市民 20歳から74歳  
無作為抽出 4,258人 (回収率 81.38%)
- 実施期間：平成22年9月28日から10月11日
- 回収方法：保健推進員による回収 (10月12日～10月19日)

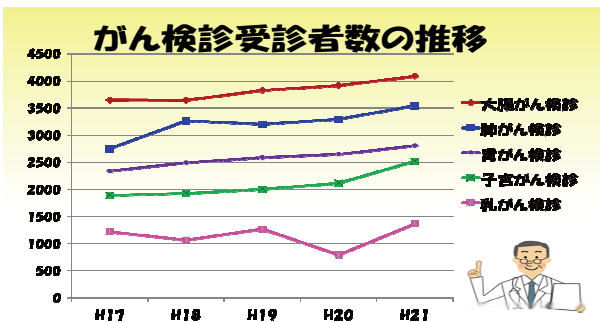


働き盛り世代（特に男性）の生活習慣の見直しが必要、肥満の推移は？

肥満度 (BMI 2.5以上)の年代別割合 (%)

年代	男性		女性	
	H18	H22	H18	H22
20代	11.1	17.2 ↑	2.7	3.5 ↑
30代	15.1	25.2 ↑	3.8	4.3 ↑
40代	27.0	26.7 ↓	9.5	9.0 ↓
50代	22.2	23.9 ↑	10.6	12.8 ↑
60代	23.8	22.0 ↓	15.3	15.7 ↑
70歳～74歳	24.8	21.2 ↓	28.0	18.5 ↓
全体	21.4	23.2 ↑	10.2	11.0 ↑

❖今回の調査では健康観や生活習慣、生きがいなどについて質問をしています。青壮年期の男性の肥満の割合は増加、運動習慣がある人の割合は減少していることがわかりました。



Q. 2週間以上ストレスを感じていますか？

年代	大いに感じている	多少感じている
H18	14.8%	41.8%
H22	15.6%	44.7%

56.6% (H18) → 60.3% (H22)

約半数以上の方がストレスを感じている結果に...

高い!!!

- 男性: 30代: 65.3%, 40代: 68%
- 女性: 30代: 74.7%, 40代: 74.1%

❖がん検診の受診率は20%前後で、国の目標値の50%に届きません。ストレスを感じている人は、各年代で減少傾向にあるものの、依然として6～7人に1人、特に70歳代男性で大きく増加しています。30歳代男性では相談相手がいないと答えた割合も高いという結果が得られています。今後も分析を進めていきます。





このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。



3月受付分 (敬称略)



3月受付分 (敬称略)

**伊集院地域**

(出生児)

(保護者) (自治会)

竹永 柚穂 佑介 天神馬場  
竹之下 千桜 真輝 郡下  
坂井 心菜 剛 中福良  
川村 風央 宣裕 平古  
重水 俐乃 崇徳 徳重東  
永福 優翔 豊 郡下  
奥 瑞人 仁 恋之原  
中村 瑞 大介 妙円寺九区  
瀬戸口 煌和 寛 妙円寺二区  
田平 佳那 俊彦 妙円寺八区  
平石 玲奈 誠 立野  
稲留 直紀 肇 つじヶ丘三三三区  
卓 楓翔 裕介 つじヶ丘三三三区  
谷山 柚愛 純也 徳重東

**東市来地域**

(出生児)

(保護者) (自治会)

岩下 羚斗 真也 田之湯  
大庭 未久 敏浩 古市  
橋本 玲菜 大作 麓下  
黒木 玲那 健太郎 向湯田  
永井 真由子 辰也 向湯田  
井上 優寿 智和 杉之迫

**日吉地域**

(出生児)

(保護者) (自治会)

水元 康介 洋介 南区

**吹上地域**

(出生児)

(保護者) (自治会)

浅倉 一仁 光雄 小永吉  
内野 佑紀 宏信 南湯之元  
下野 悠翔 彰久 西本町  
窪 娃空 健一 緑ヶ丘  
川内 舞桜 辰一郎 宮坂 永吉中央

**伊集院地域**

(故人)

(享年) (自治会)

豊田キミエ 寺脇 87  
志摩ノブ子 妙円寺一区 82  
畠中タツエ 古城 97  
榎本義三郎 下方限 76  
馬渡 俊義 飯牟礼下 72  
角 フサエ 徳重東 87  
門松 ヨネ 妙円寺二区 57  
大馬 英俊 つじヶ丘三三三区 73  
松崎 俊郎 上之馬場 51  
川畑 スミ 中神殿 88  
下古立金儀 麦生田 92  
原之園ハルエ 大田上 93

**東市来地域**

(故人)

(享年) (自治会)

田丸 信義 荻 87  
山ヶ城 保 美山 59  
藤川 貞良 古市 83  
曾我部頼政 元湯 81  
中村 善治 江口 91  
神田シキ子 中央 77  
若山ナミエ 駅前 89  
豊辻 登美 中央 80  
久留 トキ 城之町 102  
中村 フヂエ 城之町 100  
吉嶺 正敏 駅前 84

**日吉地域**

(故人)

(享年) (自治会)

米田 ミエ 二濁 92  
松村 タネ 南区 92  
松下 正弘 熊野 84  
諸正 義雄 扇尾 87  
宮脇 貞 八幡 87  
遠矢 正則 草原 82  
立宅 フサエ 南区 90

**吹上地域**

(故人)

(享年) (自治会)

福山 たよ 江口 98  
楠生 清一 立和名 83  
立野 利行 高山 80  
西 フヂエ 牧之角 92  
岩元ルイ子 向湯田 87  
北園 正義 中央 73  
清藤スミ子 城之町 84  
内野 義夫 中央 84

※訂正とおわび  
広報ひおき3月号の記事中に誤りが  
ありました。  
次のとおり訂正しておわびします。  
P17戸籍の窓  
(東市来地域 おくやみ)  
濱崎 往子 75 元湯  
濱崎 往子 75 元湯  
濱崎 往子 75 元湯

**人権問題の相談は人権擁護委員へ**

～大切にしよう一人ひとりの人権～

人権擁護委員は、皆さんの人権が侵害されたときに相談を受け、速やかに対応します。相談は無料で、内容は堅く守られますのでお気軽にご相談ください。

わたしたちが相談に応じます

人権擁護委員 (敬称略)

平成23年度特設人権相談所開設日 (相談時間 午前10時～午後3時まで)

	第1回	第2回	第3回
本庁	平成23年6月1日	平成23年9月15日	平成23年12月5日
東市来支所	平成23年4月14日	平成23年8月11日	平成24年1月12日
日吉支所	平成23年5月18日	平成23年10月19日	平成24年2月15日
吹上支所	平成23年7月20日	平成23年11月15日	平成24年3月21日

※開設日は変更になる場合もあります。

【お問い合わせ先】

本庁 市民生活課戸籍係 電話273-2111 (内線1144)

地域名	氏名	電話
東市来地域	野崎 楠雄	274-4961
東市来地域	久保 文男	274-6516
東市来地域	岩下 輝子	274-4903
伊集院地域	麦野 賦	272-3747
伊集院地域	益満 和子	272-5715
伊集院地域	本村 一男	273-2494
日吉地域	森園 圭子	292-3117
吹上地域	上床 耕造	296-2902
吹上地域	松崎 征男	296-2161



西ノ園 純男さん [59歳]

東市来町長里 (坂之上下自治会)

● 串木野日置法人会副会長

地域に根ざした活動で地域社会に貢献したい

東市来地域で(株)西住宅産業を経営する西ノ園さん。平成二十一年からは、(株)串木野日置法人会副会長を務める傍ら日置市副支部長を務め、地域振興や環境美化などのボランティアを通して、地域社会に広く貢献されています。

東市来地域では毎年、地域貢献活動の一貫として町内の福祉施設を訪問され、入所者の方と交流をされています。交流は、菓子組合にも協力をもらってのケーキ作り体験や日本舞踊同好会による踊りなどです。西ノ園さんは「入所者の方に喜んでもらえ『楽しかった。また来てほしい』などと声をかけられることがうれしい」と笑顔で話されます。

また、交通安全を促すための看板を設置。昨年は、町内の小・中学生を登下校中の交通事故から守るための道路横断用旗を、各小中学校と地域交通安全指導員に贈られました。「毎年、どんな活動にするかは、話し合いの中で決めていきます。時には情報交換の場をつくる『飲みにケーション』を開くことで、いろいろな知恵がでてきます」と笑顔で話されます。

そんな中で西ノ園さんの楽しみは、骨董品(刀剣)収集や史跡巡りです。また、動物も大好きで、中でもウサギは九匹飼っておられます。

「現在は、社会情勢も厳しく会員企業も大変厳しい状況の中にありますが、企業も地域社会の一員として、地域の発展に貢献すべき時代を迎えています。これからも会員企業の連携した活動によって、環境美化などのボランティア、地域振興のための活動など多様な社会貢献活動に取り組んでいきたいです」と話されます。

行政に対するご相談は、行政相談委員へ

平成 23 年 4 月 1 日付で、三原辰子さん (東市来地域)、橋口勇さん (伊集院地域)、下野衛さん (日吉地域)、甲斐克美さん (吹上地域) が、行政相談委員 (総務大臣委嘱) に委嘱されました。

行政相談委員は、主に「国や身近な行政について苦情や意見・要望があるが、どこに相談してよいか分からない」といった相談を受けて、中立・公正な立場から、助言や関係機関に対する通知などの処理を行っています。

各支所で年 2 回相談所を開設しています。たとえば、道路、登記、税金、年金、郵便、労働などの問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

なお相談は無料で、内容は堅く守られます。

行政相談委員の連絡先 (敬称略)

担当地域	行政相談委員名	連絡先
東市来	三原 辰子	274-4716
伊集院	橋口 勇	273-3990
日吉	下野 衛	292-4658
吹上	甲斐 克美	297-2587



▲三原辰子さん



▲橋口勇さん



▲下野衛さん



▲甲斐克美さん





## ギャラリー 私の作品展

### 『パッチワーク』

二川 禮子さん(64歳) [伊集院町妙円寺]

さまざまな布を縫い合わせて作るパッチワークに魅せられて35年。制作過程の楽しさと、完成したときの感動が味わいたくて続けてきました。パッチワークは手間と時間はかかりますが、布と布をつなぎ合わせてできる素朴でぬくもりのある優しい雰囲気的魅力です。また20年ほど前からは、公民館講座の講師も務めてきました。その間にできた友達は、今では大切な財産です。今後は楽しみながらパッチワークを通して社会貢献していきたいです。



## ウォッチまちの文化財 68

### 宣教師と市来鶴丸城 (東市来地域)

鶴丸小学校裏の山城は、「市来鶴丸城」と呼ばれています。この城は、戦国時代に日本にキリスト教を伝えた宣教師と深く関わった城です。標高約100メートル、周囲は3キロメートルほどです。

宣教師のフランシスコ・ザビエルは1549年(天文18年)に、初めて日本にキリスト教を伝えました。同行した通訳は薩摩の人で、初めて上陸したのは薩摩でした。

ザビエルは翌年に鶴丸城に10日ほど滞在し、布教を行いました。当時の城主新納康久の夫人や、子ども2人をはじめ、家臣17人が洗礼を受けたと伝えられています。

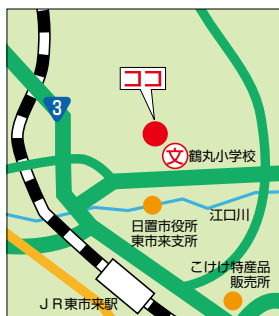
1561年(永禄4年)に鶴丸城を訪れた宣教師ルイス・アルメイダは、城の様子を書簡に書いています。鶴丸城には、家老のミゲル(洗礼名で本名は不明)を中心に80人以上のキリスト教徒がおり、礼拝堂があったとされています。信者たちはザビエルが残した品物を、聖なる物として大事に扱っていました。鶴丸城は、当時の薩摩におけるキリスト教の重要な拠点であったと言えるでしょう。

#### Access

車で本庁から約15分  
東市来支所から約2分



市来鶴丸城前のザビエルとミゲルの像



## わたしの夢

妙円寺小学校 六年 梅園 佳奈さん  
(現在伊集院北中一年)

みなさんは、介護士の仕事を知っていますか。介護士は、お年寄りの人や体が不自由な人のお世話をする人で、とても大変な仕事です。

わたしは、将来、母みたいになりたいです。そして、お年寄りや体の不自由な人たちから、たよられるような人になりたいです。



## 鹿児島県日置市

### 市の人口 (住民基本台帳)

総人口	51,119人 (△334)
男	23,890人 (△197)
女	27,229人 (△137)
世帯数	22,334 (△97)
4月1日現在 ( ) は前月比	
東市来地域	12,471人
伊集院地域	24,413人
日吉地域	5,444人
吹上地域	8,791人

市の面積 253.06km<sup>2</sup>

### 今月の表紙



#### 「田の神さあも、にっこり」

もちをはさんで真剣勝負。参加者は、長さ20センチほどのもちを引っ張り合い、互いの駆け引きで会場を沸かせました。

(もちひっぱれ)  
P.13 関連記事

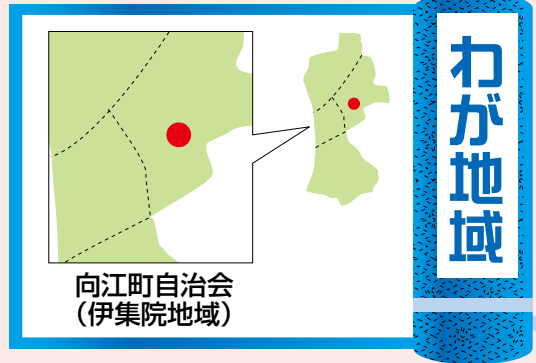
No.72 平成23年4月号  
2011. 4. 22発行

発行/日置市役所  
総務企画部企画課  
〒899-2592  
日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL 099 (273) 2111  
FAX 099 (273) 3063  
東市来支所  
TEL 099 (274) 2111  
日吉支所  
TEL 099 (292) 2111  
吹上支所  
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

伊集院駅から南東へ約一キロ、市役所から南へ約一・五キロに位置し、伊集院地区公民館を形成する自治会の一つ向江町自治会。平成二十三年四月一日現在で二百六十五世帯、五百六十六人が暮らしています。

飲食業を中心とする地域で、商店街や小・中学校などが近くにあり、どこに行くにも便利です。また八月に開催される夏祭りには、地域内外から大勢の人が訪れます。



## わが地域



▲子どもみこしで幕開けする夏祭りは大勢の人でにぎわいます



▲橋口正太郎会長

## むかえまち 向江町自治会 (伊集院地域) 住民一体となった活動で活力ある元気な地域

**自治会**の活動は、各専門部を中心に、地域一体となって取り組んでいます。

中でも、年間を通して活動の中心になっているのが青年部です。特に、毎年八月の第一日曜日に行われる地域の一大イベントの夏祭り「サマーフェスタ in むかえ」は、青年部が中心となって約二カ月間にわたり準備に奔走。



▲みんなで練り上げた大縄を使って交流をする十五夜行事

走。その熱意が祭りを支えています。昨年の夏祭りも、地域内外から大勢の人が訪れ、歌やダンス、お楽しみ抽選会などで盛り上がりました。

**伝** 統行事としては、高齢者が若い世代に伝承しながら作り上げた大縄を使って、十五夜行事を行っています。この行事は、子ども育成会を中心に、地区の活性化や世代間交流を図ろうと毎年実施しており、綱引きや相撲を楽しんだ後、お月見団子を食べながら、親睦(しんぼ



▲今年の花見は新しく整地した広場で行いました

く)を深めています。また体育部では、自治会対抗ソフトボール大会や軟式野球大会、ほかにも伊集院校区内の三世代交流グラウンドゴルフ大会などにも参加して、地域内の交流が活発になるように活動しています。

**先** 月は、公民館前の広場の整地を行いました。この整地も青年部を中心に一日がかりで実施。今年は、これまで城山公園で行っていた花見を、この広場で行ったところ、例年に比べ多くの参加がありました。今後はもっと、この広場を活用した活動ができればと考えています。

**役** 員だけでは、決してよりよい運営はできません。協議を重ね、運営していくことは大変ですが、これからは、自治会の皆さんの協力を得ながら、自分たちでできることは、自分たちで取り組んでいけるよう、元気な地域づくりに向けて活動していきたいです。